

(社会教育) その他

教材番号	題名	時間	内容	制作年備考
4950	アウシュビッツ 1 大量虐殺への道	44	世界史上最悪の大量虐殺が行われた場所アウシュビッツ強制収容所。その誕生と変遷を追う。	2005
4951	アウシュビッツ 2 死の工場	44	1942年ナチスはヴァンゼー会議で“ユダヤ人問題の最終解決”について確認、フランスを始めとした西ヨーロッパでもこれに着手し、ポーランドではヒムラーによるユダヤ人絶滅の命令後、各地に死の工場が造られた。	2005
4952	アウシュビッツ 3 収容所の番人たち	44	1943年までには、45の収容所がアウシュビッツ周辺に建造された。こうしてユダヤ人達が大量に殺害されていく一方で親衛隊隊員達は墮落した生活を送っていた。	2005
4953	アウシュビッツ 4 加速する殺戮	44	「しばらくすると何も感じなくなります。私の良心は、あの時心の奥底に押し込められて、今でもそこにとどまっています。時々心の奥底から声が聞こえます。いったいなぜ私たちはあんなことをしたんだと・・・。」	2005
4954	アウシュビッツ 5 解放と復讐	44	アウシュビッツの衝撃的な終焉と当事者たちの戦後を取り上げる。1945年アウシュビッツ強制収容所は解放される。しかし、彼らを待っていたのは、あまりにも悲惨な現実であった。	2005
10295	青葉のころ よいお年を2	84	「よいお年を」から3年、「元気な亀さん」では、ある変化が起こっていた。それは、施設のあり方に賛同、共感した若いスタッフが増えたこと。映画は彼らに様々な質問を投げかける。「老い」に接した彼らの驚きや戸惑い、そして喜びを鮮やかに描きながら、介護の在り方を真摯に問いかける。	1999
4964	あぶない野菜 ～グローバル化する食卓～	30	安い輸入野菜は本当に安全？輸送にかかる環境負荷は？利潤を追求するグローバルなアグリビジネスの思惑と日本の農業の現状と私たちの食生活を考える。	2002
10081	いのちの授業900日 ぶたのPちゃんと 32人の小学生	40	自分たちで飼育したぶたを食べるか食べないか、教室では賛否両論が激しく巻き起こった。	2008
4965	エビの向こうにアジアが見える	22	エビの90%を輸入に頼る日本。輸出国インドネシアでエビの養殖地が環境や社会に与える影響を追う。	1996
4963	エビの履歴書 ～育てる人と食べる人～	27	日本に入るエビのほとんどは輸入物。インドネシア、中国、タイ、ベトナムなどの生産地でエビがどのように育てられているかを追う。	2004
10749	がんばり過ぎない がんばらない介護のすすめ	20	高齢社会を生きるシリーズ	2015
10022	企業と人権 「外国人労働者問題から 民族共生を考える」	32	従業員の2割が中国人という中堅建設社に密着取材。研修・技能実習制度を利用した人材の育成・確保の実態をドキュメントしながら、利潤追求という現実の中、どう人権問題と真剣に向き合ってきたかを描きます。	2007
10099	北朝鮮による 日本人拉致問題啓発アニメ めぐみ	25	北朝鮮による日本人拉致問題啓発アニメ。昭和52年、当時中学1年生だった横田めぐみさんが、学校からの帰宅途中に北朝鮮当局により拉致された事件を題材にしたドキュメンタリーアニメ。	2008
10752	君が、いるから	33	母親からの心理的虐待に悩む主人公が、コンビニを舞台とした「ほんの小さな冒険」をきっかけに人々とのふれあいを通じて新たな価値観に気づいていく。信頼の先に「希望」と「幸せ」があることを主人公の成長を通して描いた人権啓発ドラマ。 企画 兵庫県・(公財)兵庫県人権啓発協会 出演：工藤綾乃 鈴木勝吾 寺田農 小林綾子 中村玉緒 ※字幕副音声付き	2018
10747	巧妙化する詐欺手口に備える ーだまされないための五箇条ー	21	連日のように報道される「特殊詐欺」の被害。「私はだまされないから大丈夫」と思っているシニア世代の多くが詐欺グループのターゲットになっています。ここでは、2つの再現映像を検証しながら、その理由と対策をわかりやすく説明していきます。 監修：立正大学心理学部対人・社会心理学教授 西田公昭	2016
10748	高齢者を狙う詐欺・悪質商法 ー林家木久扇・木久蔵のだまされちゃいやーん！ー	30	高齢者を狙った詐欺・悪質商法は巧妙化の一途をたどっています。高齢者自身の対策とともに、家庭や身近な人々の見守りや日頃からの交流が欠かせません。林家木久扇・木久蔵親子の師匠が演じる落語を楽しみながら、近年多発する手口の再現ドラマをもとに、対策や周囲の見守りの大切さを描きます。監修：弁護士 村千鶴子	2016
4958	コーヒーの秘密 ～南北問題が見えてくる！～	22	コーヒー生産地の多くはかつての植民地で現在の債務国。国際価格に縛られた生産者の現状と、作る人と飲む人の対等な関係を考える。	2002
10746	ここから歩き始める ー認知症を共に生きるー	34	「認知症を共に生きる」をテーマに、超高齢社会のあり方を人との幸せと尊厳を守るという人権の視点から捉えます。認知症の親を持つ家族の中で繰り広げられる介護を巡る葛藤とさすなな紡ぎ直しから、高齢者が人間として誇りを持って生きていく姿を描いています。 企画：兵庫県・兵庫県人権啓発協会	2015
4983	こんにちは貢寮	89	日本から輸出される原発に揺れる台湾の貢寮の人びとを追ったドキュメンタリー。	
10753	18歳が、変わる！ーアキラとマモル バンド編 成年年齢引き下げについて、見て わかる動画	2	2022年4月1日から成年年齢が18歳に引き下げられることに鑑み、若者の消費者被害の増加を未然に防止する目的で制作された。成年(成人)と契約、消費者を守ってくれる法律、(特定商取引法、消費者契約法、電子契約法など)、トラブルにあったらなど。 制作 金融広報中央委員会	2019
10021	知的障害者の雇用への道 ～歩みははじめた 医療現場の実践から～	27	障害者雇用が困難と思われてきた医療の現場において、大阪府済生会とエル・チャレンジが共同で、大阪府済生会吹病院の仕事づくりから雇用まで、一貫した就労支援を記録したものです。	2007

(社会教育) その他

教材番号	題名	時間	内容	制作年備考
4957	徹底解剖 100円ショップ ～日常化する グローバルゼーション～	20	庶民の生活を支える100円ショップ。安さのからくりはどこにある？商品の生産地を訪ね、グローバル化の中のアジアと日本の関係をたどる。	2004
4962	となりに生きる外国人 ～多文化共生って何？～	30	200万人を超える外国人が生活している日本。日本に生きる様々な外国人を取材し、日本社会で外国人が直面する問題を、労働・社会・教育の切り口から追う。	2006
10137	日常の人権Ⅰ ～気づきから行動へ～ 女性の人権 子どもの人権 高齢者の人権	23	三つのテーマについて、それぞれドラマ編とドキュメンタリー編に分けて考えていく。	2009
10138	日常の人権Ⅱ ～気づきから行動へ～ 外国人の人権 障がい者の人権 部落差別 インターネットでの人権侵害	23	四つのテーマについて、それぞれドラマ編とドキュメンタリー編に分けて考えていく。	2009
10643	ねらわれています！あなたも (多発する振り込め詐欺)	22	振り込め詐欺の被害者は、その知識をある程度持っている方がほとんど。しかしなぜ、被害は後を絶たないか。再現映像で検証しながら、防ぎ方を説明している。 ●還付金詐欺 ●劇場型投資詐欺 ●キャッシュカード受け取り型詐欺	
4955	バイオ燃料 畑でつくるエネルギー	31	「環境にやさしい」燃料として注目を集めるバイオ燃料。大量の燃料を求める先進国の車社会が人々との暮らしに与える影響を検証する。	2007
10080	ヒューマン博士と考えよう ～差別から人権の確立へ～	28	差別された人々の歴史と暮らしに焦点を当てながら、私たちの歴史の中でつくられた偏見や差別の解消につなげていただくことを目的に制作。	2007
10292	部落の心を伝えたい No. 11 あすなろを生きる	26	10年以上も続く福岡の「あすなろ解放学級」。今も地区内外から毎週大勢の人たちが集い、学び合い、話し合い、笑い、涙する。代表の野上早苗さんが語る一人から始まる解放運動とは。	2009 字幕入
10293	部落の心を伝えたい No. 12 若い力は今	30	自らの差別体験を通して、「差別をなくす人生」を生きる吉岡綾さん。若さ溢れる熱く力強い語りは、行政・企業・学校で大きな反響を呼んでいる。	2009 字幕入
4961	ペットボトルの水	31	急激に消費を伸ばすペットボトルの水。売れる理由、安全性、高価格のからくり、容器の処理、自然環境や途上国の人びとの生活に与える影響などを検証する。	2007
10020	未来世紀 ニシナリ	68	釜ヶ崎、あいりん地区、ドヤ街、部落、在日等々かつて負のイメージで語られることの多かった西成。今、この大阪ディープサウスで、「すべて」をつなぐ新しい町づくりの取り組みが進んでいる。	2006
10642	無関心ではいけない！ 障害者の人権	24	「差別解消法」への理解を深めるため、視覚・聴覚障害者、車椅子の方の日常を通して、あらゆる種類の差別を考え、障害者の人権について学ぶ作品。	
10294	よいお年を	88	介護保険制度が始まる5年前。1995年に埼玉県坂戸市の民間福祉施設「元気な亀さん」を1年間にわたって追いかけた長編ドキュメンタリー。ステイとデイケアの認知症の老人と、障がいのある青年、乳幼児を含む子ども、養護学校にかよう児童たちが集う。朝から晩まで笑い声や泣き声、怒鳴り声が絶えない。そんな施設の日常を記録しながら、そこで働く人々へのインタビューなどもおりませ、「生きる」ということを見つめ直す。	1996